



各 位

2021年11月8日

会社名 日本光電工業株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 荻野 博一
(コード番号 6849 東証第1部)
問合せ先 経営戦略統括部長 吉澤 慶一郎
(TEL. 03 - 5996 - 8003)

業績予想の修正に関するお知らせ

当第2四半期連結累計期間の実績および最近の業績動向等を踏まえ、2021年8月4日に公表しました2022年3月期連結業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	190,500	18,000	18,000	12,000	141.68
今回修正予想(B)	201,000	25,500	25,500	17,500	206.58
増減額(B-A)	10,500	7,500	7,500	5,500	
増減率(%)	5.5	41.7	41.7	45.8	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	199,727	27,094	28,374	18,243	214.21

2. 修正の理由

売上高につきましては、国内、海外ともに、上期が想定を上回って推移したことから、業績予想を修正しました。国内では、上期は、新型コロナウイルスの感染再拡大により生体情報モニタ、人工呼吸器の需要が想定を上回ったほか、前年同期に低調だった一部製品の需要回復やITシステム商談の再開により、医療機器、消耗品・サービスともに好調に推移しました。下期は、前年同期に需要が急増した反動を見込んでいます。海外では、上期は、前年同期に低調だった一部製品の需要が回復したほか、米国において生体情報モニタの納品が前倒しで進んだことや、中南米、インド、東南アジアにおいて感染再拡大により生体情報モニタ等の需要が想定を上回ったことから、好調に推移しました。下期は、欧州や中南米など前年同期に需要が急増した地域で反動を見込んでいます。

利益につきましては、部材価格や物流コスト上昇の影響が見込まれるものの、売上高が前回予想を上回るとともに売上構成が良化する見込みであることから、上記のとおり修正することといたしました。上期に大幅増益を達成したことから、コーポレートの主要機能の強化に取り組みます。

業績予想につきましては、現時点で当社が把握している情報をもとに、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大および半導体供給不足や東南アジアからの部品供給の遅れ等の影響を織り込んでいます。今後の動向を注視し、業績予想の修正の必要が生じた場合には速やかに開示します。

※ 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって記載の予想数値と異なる場合があります。

以上